

長時間労働の是正を 日教組第106回定期大会

7月15・16日、日本教育会館で日教組第106回定期大会が開催され、今後2年間の運動方針を決定しました。高教組からは執行委員3人が代議員として参加しました。

全国の単組から、長時間勤務・多忙化の問題について、討論が行われました。教職員の働き方がマスコミ等でも大きくとりあげられている中、体調を崩す教職員が増加していることから、多忙化解消に向け待ったなしの状況であることを確認しました。

高教組は、2021年度から始まる、大学入学共通テストについて、「英語等で民間企業の検定試験結果を考慮することは、地域や保護者の経済状況によって受験生に格差が生じることが懸念される」ことや、「記述問題の採点について、公平性が保たれるのか疑問である」という主旨と、教育の機会均等という観点で質問と討論にたちました。

大会宣言と、特別決議3つ（○ゆたかな学びを創造する学校づくりに向けた特別決議 ○教職員の長時間労働是正、ワーク・ライフ・バランスを実現し、生活時間を取り戻す特別決議 ○「教え子を再び戦場に送るな」の不滅のスローガンのもと、憲法理念の実現をめざす特別決議）を採択しました。

今年は憲法施行・日教組結成70年にあたり、職場を原点に未来につなげる運動をすすめることを確認しました。



第31回日教組東北ブロック カリキュラム編成講座

期日：8月19日(土)～20日(日)

会場：花巻温泉

ホテル紅葉館、ホテル花巻

第66回 東北民教研 「岳集会」

期日：8月10日(木)～12日(土)

会場：二本松市岳温泉

陽日の郷 あづま館